

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。



ご使用上の注意

- 高温多湿を避け、幼児の手が届かない場所に保管してください。
- アルカリ性が高いので取扱いには十分ご注意ください。
- 作業中は誤って目に入らないようにゴーグルを着用してください。
- 誤って目に入った場合は、こすらずに水で十分洗い、すぐに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、すぐに医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付くと、肌が荒れる可能性があるため、作業中は付属の手袋を着用することをお勧めします。
- 服に付着すると、取れなくなりますので、汚れても良い服装で作業をしてください。
- フタを開ける時は容器を傾けないで、水平にして静かに開けてください。液剤がこぼれる可能性があります。
- **CSパテをかき混ぜるコツ！**

CSパテは材料特性上分離しますので、キャップをあけると浮き水がある状態です。

分離したまま混ぜようとすると混ざりにくいため、付属の金属のヘラで固形部分を細かく切るようにしてからかき混ぜてください。

＜CSパテ攪拌状況写真＞



①開封直後



②攪拌開始



③攪拌完了

①開封直後：CSパテのキャップを開けると浮き水がある状態なので、傾けてこぼれないように注意してください。

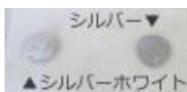
②攪拌開始：金属ヘラ等の薄く硬いもので、容器の底まで突き刺すようにして細かく切る。

③攪拌最中：細かく切った後、ダマが残らないようによくかき混ぜる。容器の底の固形分が混ざり難いので注意する。

- CSパテは乾燥硬化型のため、作業中にフタを開けたままにしないように注意してください。
- 製品の使用期限は、CS-21クリアー・CSパテ共に、製造日から1年以内です。
- 開封後はなるべく早く使い切ることをお勧めします。
- 保存の際は、キャップをしっかり強く閉めて冷暗所に保存して下さい。CS-21クリアーとCSパテは無機質材料のため物性は安定しております。
- CSパテは乾燥硬化型のため長期間ご使用にならないと、乾燥により固化してしまう可能性があります。乾燥を防ぐことにより保存可能です。保存の際は、キャップをしっかり強く閉めて冷暗所に保存して下さい。
- CSパテが固まる前に水に触れると流れたり、硬化不良になる場合があります。
- 雨降り時の補修は雨に濡れないように養生をして行って下さい。
- CSパテは乾燥硬化型のため、漏水があり濡れているひび割れには適用外です。また、補修後にひび割れが広がったり、動いたりする場合には追従性が無いために適用外です。
- マイクロクラック(0.04ミリ)～0.2ミリ程度のひび割れ補修が対象となります。CSパテは、乾燥硬化の際に収縮しますが、重ね塗り可能な材料のため、繰り返しすり込みを行う事で0.2ミリ以上のひび割れでも埋める事は可能です。
- CSパテが固まる時間は、CSパテが乾燥硬化型のため、気温や湿度や下地乾燥状態により変化します。
例) 気温20℃ CS-21クリアー 0.2kg/m²塗布後、乾かないうちにCSパテを塗布した場合の参考値
・硬化時間 約2時間 ・可使用時間 約5分
CS-21クリアー塗布後、乾かないうちにCSパテのすり込みを行って下さい。
乾燥したコンクリートにCSパテが触れると急に固まる場合がありますので、ご注意ください。
- 3色のCSパテを混ぜて、補修部のコンクリート色に色合わせをすることで、補修跡をより目立たなくさせることもできます。あらかじめ、少量のCSパテを混ぜ合わせて乾燥硬化した状態の色を確認後、必要量の色合わせを行うことで無駄なく、よりキレイに仕上げることができます。
色味の濃いコンクリートの補修の際には、CSパテに無機顔料を加えて色合わせをすることもできます。

＜色合わせ例＞

プラスチック板に、シルバーホワイトとシルバーを等量取り、よく混ぜて中間色を作製。



＜色見本例＞



※実際の色とは異なる場合がありますので、目安としてお考え下さい。



ココが

ポイント